

令和2年度 第1回山岳部検討会議論の整理

課題	主な助言・意見	回答
<p>議事(2)</p> <p>【資料2】 施設整備・維持管理シート(案)</p>	<p>今後の利用者へのモニタリングを見据えて、「図1 登山道区間ごとの施設整備・維持管理水準」の区間Noをわかりやすくするために振りなおしてほしい。(吉田)</p>	<p>龍神杉線(現No1)から時計周りに番号を振りなおす。</p>
	<p>結論をだす方向に向けて進めてほしい。(屋久島観光協会ガイド部会 伊熊)</p>	<p>文中の青字(追記が必要であると判断したもの)、赤字(区間ごとの課題)について意見を寄せていただき、それらを整理し、精査したものを第2回検討会で提示し意見をいただき、最終的には第3回で取りまとめたシートを提示できるようにする。</p>
	<p>管理主体が明確になっていない登山道については、今後、どのような場で議論していくか。(屋久島山岳ガイド連盟 古賀)</p>	<p>関係機関で集まり、管理主体が決まっていない登山道や、具体的な施設整備・維持管理について話し合いの場を設けることを進めているところ。</p>
	<p>第3回検討会までに合意できない課題等の取り扱いはどうにしていくのか。(屋久島山岳ガイド連盟 古賀)</p>	<p>合意できなかった課題や問題点を抽出して、ビジョン別添として取りまとめ、関係者間で引き続き議論していく。</p>
<p>屋久島登山道の利用体験ランクと整備・管理方針</p>	<p>整備・管理方針、シート(案)の「環境」「施設」の項目に関しては、今までの検討会において十分な議論が行われていないのが現状。施設・登山道等の管理の役割分担が全く不透明な状況にあるため、この方針について内容の見直しが必要。(屋久島観光協会ガイド部会、屋久島山岳ガイド連盟、屋久島町観光町づくり課)</p>	<p>屋久島観光協会ガイド部会、屋久島山岳ガイド連盟、屋久島町観光町づくり課との議論の場は引き続き設ける。議論の結果、修正が必要であれば、「整備・管理方針」及び「施設整備・維持管理シート(案)」に反映する。ただ、「整備・管理方針」はこれまで議論を積み重ねて平成30年度に合意したものと認識していることから、大きな修正ではなく、注釈をつけたり、言葉を補う等の修正を考えている。</p>

課題		主な助言・意見	回答
議事（3）	【資料3】 利用者誘導	表4「誘導方法（案）」に、ランクの難易度や道迷いの難易度も入れてほしい。（屋久島山岳ガイド連盟 古賀）	難易度や道迷いについては資料4「情報の提供」に入れる。
		将来的には全ルートで事前レクが望ましいとしているが、表4との整合がとれていない。（鹿児島県自然保護課 眞邊）	表4⑤は、全ルートに適用するといった表現に修正する。
		エコツアー全体構想では事前レクについて議論が進んでいない。このため、山岳ビジョンの方で事前レクの具体的な方法を議論してほしい。（土屋委員、吉田委員）	事前レクについては、ガイド制度等のその他の仕組みと併せて考えていく必要があり、将来的にエコツアー全体構想で取り扱いを議論すべきものであるため、山岳ビジョンにおいては、あり方検討会での意見を記録し、考え方を提示することに留める。
		屋久島は単なる登山をする場所ではなく、山岳信仰含めて神聖な場所である特殊なところであることを理解してもらうためにも、20～30分程度の事前レクは必須。（宮之浦岳参り伝承会 中川）	
		事前レクの内容は自然だけでなく歴史についても知ってもらい、そういった意識を持った登山者にだけ入山してほしい。今後、事前レクについては検討してほしい。（オブザーバー 大山）	
		全員に事前レクを受けてもらう環境をつくるべきといった考え方は賛成。事前レクの場所については、登山口よりも里で実施できる場所は多々ある。（屋久島観光協会ガイド部会 伊熊）	

課題		主な助言・意見	回答
		あるべき利用体験ルート（全 29 ルート）や公園計画に入っていない歩道は道迷いや遭難の危険があるため、今後の取り扱いについては、どこかに明記しておく必要がある。（屋久島山岳ガイド連盟 古賀、オブザーバー 日下田）	ご意見を踏まえて、ビジョンの適切な場所に注記する。なお、公園歩道計画にない高盤岳や石塚山については、登山利用しないよう、利用者や観光事業者への周知が必要であるため、協力をお願いしたい。
議事（４）	【資料４】 情報の提供	ランクの難易度や道迷いの難易度が盛り込まれた記載を次回までに出してほしい。（屋久島山岳ガイド連盟 古賀）	イメージ（案）として大雪山や長野、山梨のグレードの事例を提示して、ご意見を伺いたい。
		公園法上で歩道としての取り扱いのないルートについては、どのような情報提供とするのか決めておく必要がある。（吉田委員）	利用者や観光事業者への周知にあたって、関係者間で斉一的な情報発信となるように留意していく。
議事（５）	【資料５】 モニタリング	各ルートの施設整備の現状についてのデータを表２と表３に入れる。（柴崎委員）	ご意見のとおり記載する。
		施設がこの程度整備されていて、その上で満足度がどの程度なのかを把握すべき。（柴崎委員）	実際のアンケート調査等を実施する際に、参考とさせていただきます。
		現在実施している項目、追加すべき項目、方法、実施期間がわかりやすい表現にすべき。（柴崎委員）	表１、２、３を統合させた、管理目標ごとのモニタリング内容、項目、指標、方法、実施期間が入った「モニタリング整理表（案）」を作成する。
		ビジョンには来年度以降モニタリングできる程度の記載をすべき。（柴崎委員）	実際のモニタリング調査を実施する際には、有識者に別途助言いただきたい。このため、あり方検討会では、詳細な調査シートの作成までの議論はしない。
議事（６）	【資料６－２】 管理体制・担い手確保 （座長私案）	長期的に様々な課題があり、解決に至っていない状況のなか、屋久島町にとって更に大きな負担がかかると思っている。（木原）	本年度中に具体的などころまで詰められないが、今後どういった場所で議論していくのか、どのように議論をつないでいくのがよいか検討したい。

課題		主な助言・意見	回答
		このような管理体系にする考えはいいのではないか。交代で事務局を務めるとあるが、地元のことなので、屋久島町が中心になってやるのが順当と考える。(屋久島観光協会ガイド部会 伊熊)	
		遺産地域と公園地域中心にかいてあるが、森林生態系保護地域も含めて、検討できるような組織になったほうがいい。(吉田委員)	
		地域住民に周知し、納得してもらい、我が事として、ビジョンを担ってもらえる状況をつくるかが大きな課題と考える。(オブザーバー 日下田)	
屋久島縄文杉登山道大株歩道入口トイレの現状及び課題		現状把握はできていると思うので、これ以上何を調べるのかわからない。大株歩道入口トイレは壊れていて、利用者は困っている。予算組んで直す努力をしてほしい(屋久島観光協会ガイド部会 伊熊)	屋久島の山岳部利用において最大の課題であると認識。解決に向けて少しでも前進するように、関係機関及び関係者間で引き続き議論していく。協力をお願いしたい。
		森林軌道は、し尿搬出、森林パトロール、緊急時の搬送、近代産業遺産、林業遺産といった価値もある。このため、各機関が費用負担の話をするべき。(柴崎委員)	
		軌道の維持管理と、橋の架け替えといった投資では話が違ってくることを踏まえて議論が必要。(柴崎委員)	